

# オオサキ ワンダー ミュージアム

## 人と大自然の青空博物館

vol.16

いぐね  
居久根景観を「守るために活かす」  
取り組みを行っています

世界農業遺産推進課自然共生推進担当  
☎23-2281

大崎地域世界農業遺産推進協議会では、大崎耕土のランドスケープ(風景・景観)を構成している屋敷林「居久根」景観の保全と活用を推進しています。

大崎地域にある居久根は、平成28年度で世帯数の4割に当たる約24,000戸がありましたが、令和元年度に調査した結果、経済的な負担や担い手の不足などの要因により減少していることが分かりました。

協議会では、これまでも居久根保全体験会やモニターツアーに居久根見学を組み込むなど、「守るために活かす」取り組みを進めていました。今年度は、協議会が指定したモデル地区を対象に、所有者の保全費用を軽減するための「居久根景観保全活用モデル事業」を試験的に実施する予定です。地域ぐるみで保全活動をする住民協定に対し、整備費用の一部を補助することで、居久根景観の保全を目指しています。モデル事業を進めることで、来年度以降、制度の構築を推進します。

私たちの周りには当たり前のようにある「居久根」ですが、地域の宝であることを認識してもらえよう、さまざまな事業に取り組みます。



居久根が織りなすランドスケープ

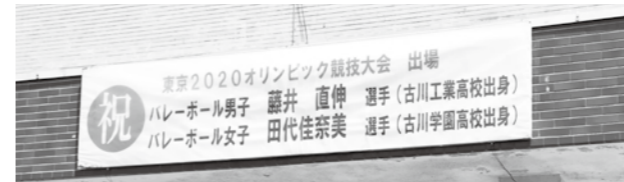


ボランティアによる居久根保全体験会

大崎耕土ウェブサイト  
OSAKI KOUDO Website



## 東京2020オリンピック



東京2020オリンピック日本代表に、大崎市にゆかりのある2人の選手が選出されました。

バレーボール男子代表の、古川工業高等学校出身の藤井直伸選手、バレーボール女子代表の、古川学園高等学校出身の田代佳奈美選手を応援するため、市役所本庁舎正面に横断幕を掲げました。

### 予選ラウンド日本代表スケジュール

| 男子(A組)          | 女子(A組)            |
|-----------------|-------------------|
| 7月24日(土) ベネズエラ戦 | 7月25日(日) ケニア戦     |
| 7月26日(月) カナダ戦   | 7月27日(火) セルビア戦    |
| 7月28日(水) イタリア戦  | 7月29日(木) ブラジル戦    |
| 7月30日(金) ポーランド戦 | 7月31日(土) 韓国戦      |
| 8月 1日(日) イラン戦   | 8月 2日(月) ドミニカ共和国戦 |

## 今月の表紙

7月6日、古川消防署志田分署で、松山子育て支援センターと鹿島台子育て支援センター合同の消防署見学会が行われました。8組の親子が参加し、消防車や救急車などを見学しました。消防車の装備品を見たり、救急車で行う処置などの説明を熱心に聞いていました。普段は近くで見ることができない車両を目の前に、大人も子どもも興味津々の様子でした。

見学会の最後には、子どもたちが消防車や救急車の運転席に座ってハンドルを握ったり、親子で記念撮影をしたりと、思い出に残る消防署見学会となりました。



広報おおさき8月号 2021 No.185

## Main Contents 目次

- 04 新型コロナウイルスワクチン接種情報
- 06 未来を担う子どもたちのために
- 08 Discover OSAKI
- 09 OSAKI Culture
- 10 オオサキプレイガイド
  - くらしの情報
- 13 高額介護サービス費負担限度額が見直されます ほか
- 24 子育て支援情報
- 25 育児相談・乳幼児健診
- 26 相談コーナー
- 27 休日救急当番医 ほか
- 28 おすすめMain Dish

## パワ崎さんの食育コラム

その4

食事は朝・昼・夜1日3食取りましょう!



世界農業遺産推進課 ☎ 23-2281

生活習慣が多様になり、3食を規則正しく取るのが難しくなっているけど、みんなは1日3食ごはんを食べているかな？  
規則正しく3食を取る習慣が崩れると、脳へのエネルギーが不足したり、1回の食事が量が増えて、肥満や生活習慣病などにつながる可能性があるよ。朝・昼・夜と3食規則正しく取るとは、体にとって大切な役割を果たしているんだ。「朝ごはん」は、眠っていた体や

脳のスイッチを入れてくれて、「昼ごはん」は、午後からの活動の体力を維持する役割があるよ。「夜ごはん」は、寝ている間の細胞の新陳代謝を促して、体作りを助けてくれるんだ。  
1回の食事でいろいろな食材を取るのが難しくても、3食取ると、バランスよく、多くの食品が摂れるよ。  
健康と食事は密接に関係しているから、まずは「朝ごはんを食べる!」ことから始めよう!

市長コラム

## 天地人

### 縄文文化に光!

コロナに翻弄される日々の中、東北地方に朗報が届きました。

三内丸山遺跡など「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコの世界文化遺産に登録される見通しとなりました。このコラムが届くころには正式決定されているでしょう。

一万年以上にわたって営まれた自然と人間が平和に共生し、狩猟や採集を基盤とした定住生活や豊かな精神文化など、縄文遺産の価値が世界的に認知された意義は大きいものです。

しかも、世界中を震撼させているコロナ禍での登録は、アフターコロナを見据えて、人間本来のたくましさや教えてくれそうです。

本市でも、縄文時代の遺跡、田尻の恵比須田遺跡や、中沢貝塚が国指定文化財として保全されていますが、中でも恵比須田遺跡で出土した縄文土器を代表す

る「遮光器土偶」は、数少ない完成品として、国の重要文化財に指定され、現在は東京国立博物館で所有されており、

さらに、遡る時代の馬場遺跡(古川)や座散乱木遺跡(岩出山)も存在し、日本列島が大陸とつながっていた時代には「ホモ・サピエンス」が大崎の大地に立ったかとも思われる太古のロマンの地でもあります。

そのDNAは今、ラムサール条約登録湿地や、世界農業遺産の認定地へと受け継がれてまいりました。

ユネスコへの登録を機に、縄文人の息吹に触れられる遺跡に新たな魅力を見出し、アフターコロナの時代への新たな価値、チャレンジへとつないでまいります。

大崎市長 伊藤康志

